

(仮称)岩槻人形会館及び岩槻人形文化に関するアンケート調査

結果

I. 調査の概要

1. 調査目的

岩槻区民及び岩槻に来る区民以外の方に対して、岩槻文化に関する認知度を調査し、岩槻・人形文化サポーターズ準備会の今後の活動に資することを目的とする。

2. 調査方法

- ①平成25年2月23日(土)～3月17日(日)に開催された「第10回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」の来場者に対して
- ②平成25年2月22日(金)～3月10日(日)にうらわ美術館で開催した「雛の宴Ⅱ」の来館者に対してアンケートを実施した。

3. 調査期間

平成25年2月22日(金)～3月10日(日)

4. 調査内容、調査項目

調査内容	調査項目
回答者の属性	居住地／性別／年齢／岩槻との関係
(仮称)岩槻人形会館について	建設の認知度／地域に及ぼす価値／活動で期待すること／必要か否か／必要でない理由／人形文化の維持・伝承について
岩槻・人形文化サポーターズ準備会について	認知度／活動の認知度／活動への興味

5. 注記事項

- ・パーセント(%)は小数点第2位以下を四捨五入し、第1位までを表示している。このため、項目のパーセント(%)の合計は、必ずしも100%になるとは限らない。
- ・各設問の回答不明分は集計から削除した。

II. 調査結果の概要

■回答者の属性

①居住地

- ・「さいたま市（岩槻区以外）」が 34.7%と最も多く、「その他（埼玉県以外）」が 22.6%、地元「岩槻区」は 22.0%。

②性別

- ・「男」が 28.1%、「女」が 71.9%と女性が約 7 割。

③年齢

- ・「60 歳代」が 42.0%、「70 歳以上」 26.9%。「60 歳以上」で全体の全体の約 7 割。

④岩槻との関係性

- ・「岩槻生まれでもなく住んでもいない」が 56.9%で最も多い。一方、「生まれてからずっと岩槻」が 4.9%、「生まれは違うが岩槻に住んで 30 年以上」が 11.7%。

■（仮称）岩槻人形会館について

①（仮称）岩槻人形会館建設の認知度（単数回答）

- ・「知っているが」が 54.9%、「知らない」が 45.1%。
- ・居住地別では、「岩槻区」の認知度は 93.2%、岩槻区から離れるほど認知度は低下。
- ・年齢別では、「40 代」が 66.0%で最も認知度が高く、次いで「50 代」、「70 代」の順。
- ・40 代以上の認知度は 50%超、30 代も 47.8%だが、20 代以下は極端に認知度が低下。
- ・岩槻との関係別では、「生まれてからずっと岩槻在住」、「生まれは違うが岩槻に住んで 30 年以上」の認知度は 95%前後。岩槻との関係が深いほど認知度は高い。

②（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値（複数回答）

- ・「歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供」が 77.1%、「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」が 63.0%。逆に「価値は感じない」との回答は 1.2%にとどまる。地域に及ぼす価値は高いと考えている人が多い。
- ・特に地域固有の資源である人形文化に親しむ、そして伝えていくことに（仮称）岩槻人形会館の価値があると考えていることが推測される。
- ・岩槻区では「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」「人形がある暮らしがある岩槻区の活性化の拠点」の割合が高いことが特徴。

③（仮称）岩槻人形会館の活動で期待すること

- ・「岩槻の歴史や文化を学習できる場」が 55.3%、「日本の人形文化の振興」が 55.0%。
- ・（仮称）岩槻人形会館に期待されているのは、岩槻の歴史・文化や人形文化の学習拠点としての役割と日本の人形文化の将来への伝承を含めた振興である。

- ・居住地別では、「岩槻区」は「岩槻の歴史や文化を学習できる場」の割合が高く、岩槻区から離れるほど「日本の人形文化の振興」の割合が高くなる。
- ・岩槻区民は岩槻特有の文化を重要視して、岩槻区から離れるほど、「日本が誇る人形文化」という視点を重視する傾向にある。

④（仮称）岩槻人形会館の必要性（単数回答）

- ・「必要である」が92.9%、「必要はない」が7.1%。9割以上が（仮称）岩槻人形会館の必要性を感じている。
- ・居住地別では、「必要である」が多いのは意外にも「その他（埼玉県外）」の98.7%。
- ・逆に「必要である」が低いのは「岩槻区」の81.3%。「岩槻区」では生活の場であるが故の意見が反映されていると推測される。
- ・岩槻との関係別では、岩槻との関係性が深いほど「必要である」の割合が低い。
- ・岩槻区との関係が深いほど、岩槻に住んでいる年数が長いほど、人形文化は身近にあるので、外部の人より岩槻固有の文化のすばらしさを実感できていない可能性がある。

⑤（仮称）岩槻人形会館が必要ない理由（複数回答）

- ・「必要ない」理由は、「建設費用は他の用途に使うべき」が51.1%、「他の既存施設を利用すればよい」36.2%、「人形会館が出来ても利用しない」が34.0%。
- ・地元岩槻区では、「人形会館が出来ても利用しない」や「人形会館の効果や便益がわからない」も他地域より多い。
- ・（仮称）岩槻人形会館は、地元の岩槻区の市民に活用される施設であるべきで、会館の内容や有効性を地元にもっとアピールすべき。
- ・60代に「必要ない」とする人が多い。
- ・「生まれは岩槻ではないが岩槻に住んで30年以上」では「人形会館が出来ても利用しない」や「人形会館の内容がわからない」、「人形会館の効果や便益がわからない」を挙げており、地元へのPRが不足している面は否めない。

⑥岩槻の人形文化の維持・伝承について（複数回答）

- ・「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」が59.0%、「行政(県・市)が必要な支援をする」が50.5%、「人形文化イベント開催などPRを強化する」が47.8%、「市民が中心になって維持・伝承する」46.6%。
- ・（仮称）岩槻人形会館のような拠点で、行政・市民と一緒にPRすることで維持伝承できると考えている。
- ・全てのカテゴリで「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」が多いが、地元岩槻区では、「市民が中心になって維持・伝承する」も多く、人形文化は自分たちの力で維持・伝承するという意識が見受けられる。

■岩槻・人形文化サポーターズ準備会について

①岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度（単数回答）

- ・「知らない」が74.7%、「名前だけは聞いたことがある」が16.9%、「活動内容を含めて知っている」が8.4%。
- ・地元の岩槻では約2割が「活動を含めて知っている」おり、「名前だけは聞いたことがある」含めると47.2%の認知度。

②岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度（複数回答）

- ・「知らない」が62.4%。活動で認知が高いのは、「岩槻人形会館および人形文化に関するPR活動の展開」19.8%、「岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施」。
- ・地元岩槻区では「知らない」が39.0%であり、61.0%が何らかの活動を認知している。
- ・岩槻区で最も知られている活動は、「岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施」。

③岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味（単数回答）

- ・居住地に限らず、7割以上が岩槻・人形文化サポーターズ準備会活動に興味を示す。

Ⅲ. 調査結果

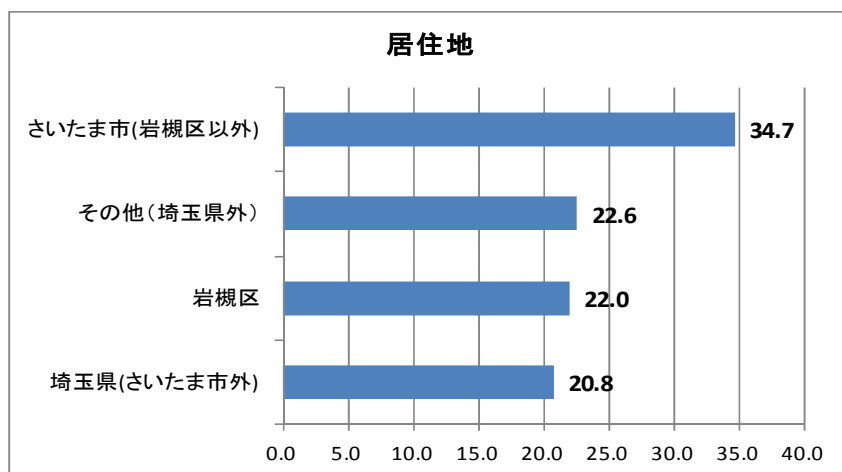
回答者の属性

1. 居住地（単数回答）

- ・回答者の居住地を見ると、「さいたま市（岩槻区以外）」が 34.7%（235 人）と最も多く、次いで「その他（埼玉県以外）」が 22.6%（153 人）、地元「岩槻区」は 22.6%（149 人）であった。
- ・今回は岩槻の「まちかど雛めぐり」だけではなく、浦和区のうらわ美術館での「雛の宴Ⅱ」でもアンケートを行ったため、岩槻区以外、埼玉県以外が多くなったものと推測される。

居住地 (N=678: 不明分は除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
さいたま市(岩槻区以外)	235	34.7
その他	153	22.6
岩槻区	149	22.0
埼玉県(さいたま市外)	141	20.8
サンプル数	678	100.0



2. 性別（単数回答）

- ・回答者の性別を見ると、「男」が 28.1%（192 人）、「女」が 71.9%（492 人）と女性が約 7 割を占め、女性に偏っている。

性別 (N=684: 不明分は除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
男性	192	28.1
女性	492	71.9
サンプル数	684	100.0

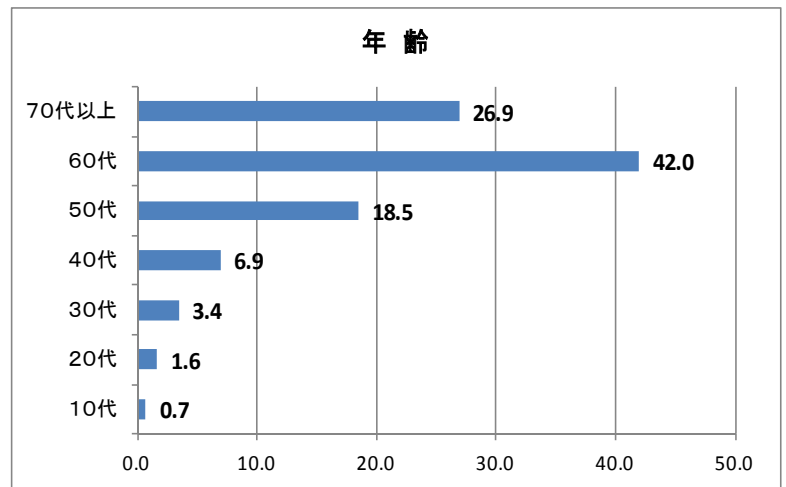


3. 年齢（単数回答）

- ・回答者の年齢を見ると、「60歳代」が42.0%（286人）と最も多く、次いで「70歳以上」26.9%（183人）となっており、「60歳以上」で全体の68.9%と全体の約7割を占めている。

年齢(N=681:不明分 除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
10代	5	0.7
20代	11	1.6
30代	23	3.4
40代	47	6.9
50代	126	18.5
60代	286	42.0
70代以上	183	26.9
サンプル数	681	100.0

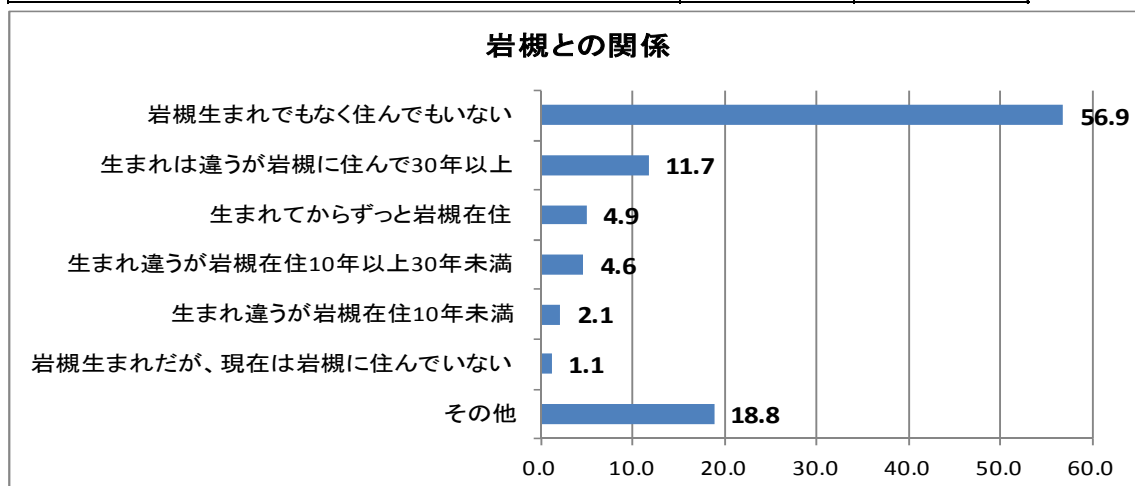


4. 岩槻との関係

- ・回答者の岩槻との関係を見ると、「岩槻生まれでもなく住んでもいない」が56.9%（361人）で最も多くなっており、岩槻とあまり縁の深くない人が多い。
- ・一方で「生まれてからずっと岩槻」が4.9%（31人）、「生まれは違うが岩槻に住んで30年以上」が11.7%（74人）であった。

岩槻との関係(N=634:不明分は除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
生まれてからずっと岩槻在住	31	4.9
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	74	11.7
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	29	4.6
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	13	2.1
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	1.1
岩槻生まれでもなく住んでもいない	361	56.9
その他	119	18.8
サンプル数	634	100.0



(仮称) 岩槻人形会館について

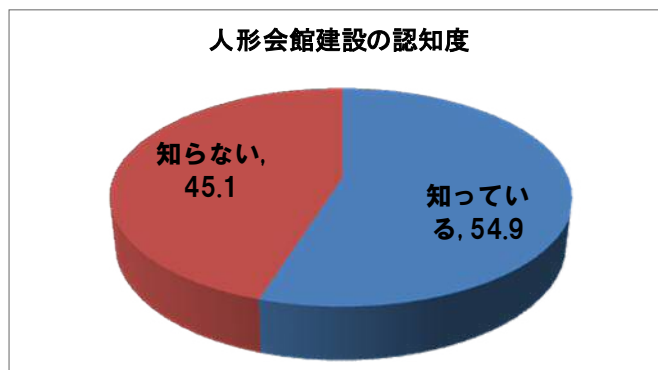
5. (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度 (単数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館建設の認知度を見ると、「知っているが」が 54.9% (384 人)、「知らない」が 45.1% (315 人) となっている。

(仮称) 岩槻人形会館建設の認知度

(N=699: 不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
知っている	384	54.9
知らない	315	45.1
サンプル数	699	100.0



5-1 居住地別 (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度 (単数回答)

- ・居住地別に (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度を見ると、「岩槻区」は 93.2% が (仮称) 岩槻人形会館の建設を認知している。
- ・岩槻区から離れるに従って、認知度は低下する。

居住地別 (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度 (N=669: 不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館建設の認知度		
	合計	知っている	知らない
合計	669	371	298
	100	55.5	44.5
岩槻区	146	136	10
	100	93.2	6.8
さいたま市(岩槻区以外)	229	121	108
	100	52.8	47.2
埼玉県(さいたま市外)	141	58	83
	100	41.1	58.9
その他	153	56	97
	100	36.6	63.4

5-2 年齢別 (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度 (単数回答)

- ・年齢別に (仮称) 岩槻人形会館建設の認知度を見ると、「40代」が 66.0% で最も認知度が高く、次いで「50代」、「70代」の順である。
- ・40代以上の認知度は 50% を超えており、30代でも 47.8% が認知をしているが、20代以下は極端に認知度が低下する。
- ・(仮称) 岩槻人形会館の認知度は、「岩槻以外の 20歳代以下」が低いことがわかる。

年齢別(仮称)岩槻人形会館建設の認知度(N=672:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館建設の認知度		
	合計	知っている	知らない
合計	672	373	299
	100	55.5	44.5
10代	5	1	4
	100	20	80
20代	11	2	9
	100	18.2	81.8
30代	23	11	12
	100	47.8	52.2
40代	47	31	16
	100	66	34
50代	125	73	52
	100	58.4	41.6
60代	283	154	129
	100	54.4	45.6
70代以上	178	101	77
	100	56.7	43.3

5-3 岩槻との関係別(仮称)岩槻人形会館建設の認知度(単数回答)

- ・岩槻との関係別に(仮称)岩槻人形会館建設の認知度を見ると、「生まれてからずっと岩槻在住」、「生まれは違うが岩槻に住んで30年以上」の認知度は95%前後で、岩槻との関係が深いほど(仮称)岩槻人形会館建設の認知度が高いことが分かる。
- ・「岩槻生まれでもなく住んでもいない」の(仮称)岩槻人形会館建設認知度は45.7%と半数以下となっている。

岩槻との関係別(仮称)岩槻人形会館建設の認知度(N=626:不明分除く)

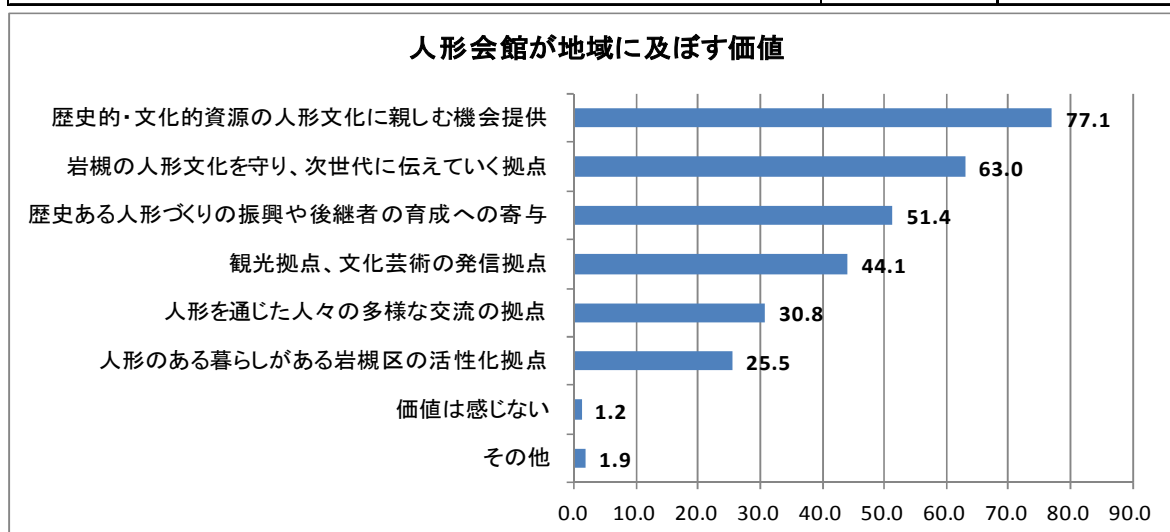
上段:件数 下段:%	岩槻人形会館建設の認知度		
	合計	知っている	知らない
合計	626	355	271
	100	56.7	43.3
生まれてからずっと岩槻在住	31	30	1
	100	96.8	3.2
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	72	68	4
	100	94.4	5.6
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	28	28	0
	100	100	0
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	13	10	3
	100	76.9	23.1
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	5	2
	100	71.4	28.6
岩槻生まれでもなく住んでもいない	359	164	195
	100	45.7	54.3
その他	116	50	66
	100	43.1	56.9

6. (仮称) 岩槻人形会館が地域に及ぼす価値 (複数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館が地域に及ぼす価値について尋ねたところ、「歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供」が77.1% (531人) で最も多く、次いで「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」が63.0% (434人) となっている。
- ・逆に「価値は感じない」との回答は1.2% (8人) となっている
- ・(仮称) 岩槻人形会館は地域に及ぼす価値はあると考えている人が多く、特に地域固有の資源である人形文化に親しむ、そして伝えていくことに(仮称) 岩槻人形会館の価値があると考えていることが推測される。

(仮称) 岩槻人形会館建設が地域に及ぼす価値 (N=689: 不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供	531	77.1
岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点	434	63.0
歴史ある人形づくりの一層の振興や後継者の育成への寄与	354	51.4
観光拠点、文化芸術の発信拠点(人形文化発信のキーステーション)	304	44.1
人形を通じた人々の多様な交流の拠点	212	30.8
人形のある暮らしがある岩槻区の活性化拠点	176	25.5
その他	13	1.9
価値は感じない	8	1.2
サンプル数(%ベース)	689	100.0



※その他意見は以下の通り

- ・人形文化以外の城下町等の歴史的価値
- ・人形という文化的・歴史的な資源を通じて、岩槻の歴史そのものへの関心を高める契機
- ・さいたま市岩槻のアピール、ブランド力の向上
- ・観光人形のまちにしたいと思えます。
- ・道駅の機能を有すること
- ・老人が集える場所を作ってほしい
- ・観光事業の整備を兼ねた取組み
- ・世代を通じて広がる関心を広める
- ・世界との交流の場
- ・コンセプトがわからない。
- ・メインを設定したらいい。人形はご存知の人が多いので。
- ・作家を育てる。つないでいく。
- ・心のゆとり

6-1 居住地別（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値（複数回答）

- ・居住地別に（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値について見ると、居住地を問わず「歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供」が最も多くなっている。
- ・岩槻区では「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」「人形がある暮らしがある岩槻区の活性化の拠点」を挙げる割合が高いことが特徴である。

居住地別（仮称）岩槻人形会館建設が地域に及ぼす価値（N=689：不明分除く）

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が地域に及ぼす価値								
	合計	歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供	歴史ある人形づくりの一層の振興や後継者の育成への寄与	岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点	観光拠点、文化芸術の発信拠点(人形文化発信のケースーション)	人形を通じた人々の多様な交流の拠点	人形のある暮らしがある岩槻区の活性化拠点	その他	価値は感じない
合計	660	510	341	420	293	202	168	12	8
	100	77.3	51.7	63.6	44.4	30.6	25.5	1.8	1.2
岩槻区	141	97	80	96	72	51	61	8	6
	100	68.8	56.7	68.1	51.1	36.2	43.3	5.7	4.3
さいたま市(岩槻区以外)	227	191	108	136	89	66	51	3	1
	100	84.1	47.6	59.9	39.2	29.1	22.5	1.3	0.4
埼玉県(さいたま市外)	141	109	77	93	68	44	32	-	1
	100	77.3	54.6	66	48.2	31.2	22.7	-	0.7
その他	151	113	76	95	64	41	24	1	-
	100	74.8	50.3	62.9	42.4	27.2	15.9	0.7	-

6-2 年齢別（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値（複数回答）

- ・年齢別に（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値について見ると、年代問わず「歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供」が最も多くなっている。
- ・「30代」と「60代」で「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」を上げる割合が多くなっている。

年齢別（仮称）岩槻人形会館建設が地域に及ぼす価値（N=689：不明分除く）

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が地域に及ぼす価値								
	合計	歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供	歴史ある人形づくりの一層の振興や後継者の育成への寄与	岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点	観光拠点、文化芸術の発信拠点(人形文化発信のケースーション)	人形を通じた人々の多様な交流の拠点	人形のある暮らしがある岩槻区の活性化拠点	その他	価値は感じない
合計	663	512	343	419	293	204	169	12	8
	100	77.2	51.7	63.2	44.2	30.8	25.5	1.8	1.2
10代	5	4	2	4	4	3	1	-	-
	100	80	40	80	80	60	20	-	-
20代	11	8	1	4	6	1	1	1	-
	100	72.7	9.1	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	-
30代	23	18	11	16	13	9	6	-	-
	100	78.3	47.8	69.6	56.5	39.1	26.1	-	-
40代	47	31	28	29	22	14	10	2	-
	100	66	59.6	61.7	46.8	29.8	21.3	4.3	-
50代	125	102	62	75	59	31	29	2	2
	100	81.6	49.6	60	47.2	24.8	23.2	1.6	1.6
60代	276	216	142	188	117	89	73	4	4
	100	78.3	51.4	68.1	42.4	32.2	26.4	1.4	1.4
70代以上	176	133	97	103	72	57	49	3	2
	100	75.6	55.1	58.5	40.9	32.4	27.8	1.7	1.1

6-3 岩槻との関係別（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値（複数回答）

- ・岩槻との関係別に（仮称）岩槻人形会館が地域に及ぼす価値について見ると、どのカテゴリーも「歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供」と「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」が上位を占めている。
- ・「岩槻生まれだが現在は岩槻に住んでいない」では「岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点」が85.7%と特に高くなっている。これは幼少期の生活環境や学校での授業で岩槻文化に触れた経験が生きているのかもしれない。

年齢別（仮称）岩槻人形会館建設が地域に及ぼす価値（N=689：不明分除く）

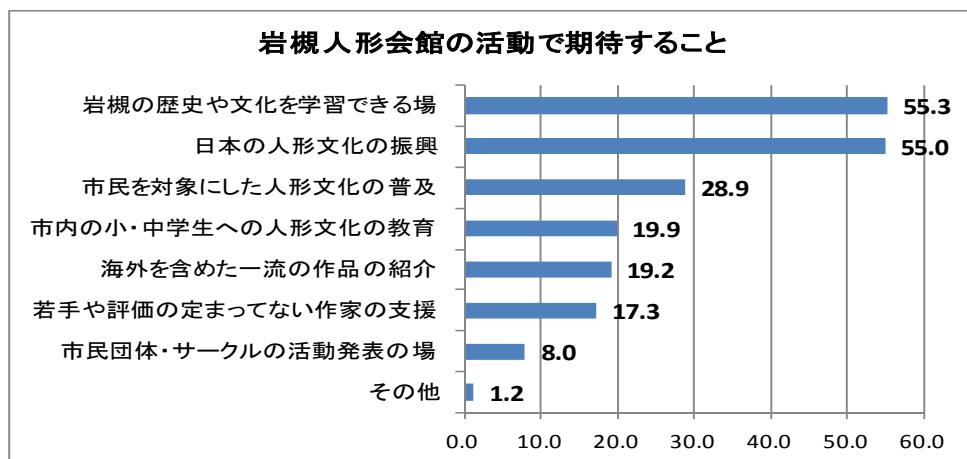
上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が地域に及ぼす価値								
	合計	歴史的・文化的資源である人形文化に親しむ機会の提供	歴史ある人形づくりの一層の振興や後継者の育成への寄与	岩槻の人形文化をみんなで守り、次世代に伝えていく拠点	観光拠点、文化芸術の発信拠点(人形文化発信のケーステーション)	人形を通じた人々の多様な交流の拠点	人形のある暮らしがある岩槻区の活性化拠点	その他	価値は感じない
合計	618	480	319	395	279	189	157	11	7
	100	77.7	51.6	63.9	45.1	30.6	25.4	1.8	1.1
生まれてからずっと岩槻在住	30	23	18	21	21	15	19	2	1
	100	76.7	60	70	70	50	63.3	6.7	3.3
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	69	44	40	46	39	25	26	4	3
	100	63.8	58	66.7	56.5	36.2	37.7	5.8	4.3
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	28	22	12	22	9	8	10	-	1
	100	78.6	42.9	78.6	32.1	28.6	35.7	-	3.6
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	12	9	7	7	4	3	2	1	1
	100	75	58.3	58.3	33.3	25	16.7	8.3	8.3
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	4	3	6	2	3	3	-	-
	100	57.1	42.9	85.7	28.6	42.9	42.9	-	-
岩槻生まれでもなく住んでもいない	357	289	181	222	158	105	72	1	1
	100	81	50.7	62.2	44.3	29.4	20.2	0.3	0.3
その他	115	89	58	71	46	30	25	3	-
	100	77.4	50.4	61.7	40	26.1	21.7	2.6	-

7.（仮称）岩槻人形会館の活動で期待すること（複数回答）

- ・（仮称）岩槻人形会館の活動で期待することを尋ねたところ、「岩槻の歴史や文化を学習できる場」が55.3%（378人）で最も多く、次いで2人差で「日本の人形文化の振興」が55.0%（376人）となっている。
- ・（仮称）岩槻人形会館に期待されているのは、岩槻の歴史・文化や人形文化の学習拠点としての役割と日本の人形文化の将来への伝承を含めた振興である。

（仮称）岩槻人形会館建設の活動で期待すること（N=684：不明分除く）

カテゴリ	件数	ウェイト%
岩槻の歴史や文化を学習できる場	378	55.3
日本の人形文化の振興	376	55.0
市民を対象にした人形文化の普及	198	28.9
市内の小・中学生への人形文化等の教育	136	19.9
海外を含めた一流の作品の紹介	131	19.2
若手や評価の定まっていない作家への支援	118	17.3
市内の市民団体・サークルの活動発表の場	55	8.0
その他	8	1.2
サンプル数	684	100.0



※その他意見は以下の通り

- ・価値もわからないので、期待はない。
- ・すべてに○したい。
- ・県としての活動へ広がるように。
- ・産業発展に寄与。
- ・人形のメンテナンス。正しい芸術性を失わない人の養成も。
- ・作家の育成と芸術とのつながり。

7-1 居住地別（仮称）岩槻人形会館の活動で期待すること（複数回答）

- ・居住地別に（仮称）岩槻人形会館の活動で期待することを探ねたところ、「岩槻区」では「岩槻の歴史や文化を学習できる場」をあげる割合が高く、岩槻区から離れるにしたがって「日本の人形文化の振興」をあげる割合が高くなる。
- ・岩槻区民は岩槻特有の文化を重要視して、岩槻区から離れるほど、「日本が誇る人形文化」という視点を重視する傾向にある。

居住地別（仮称）岩槻人形会館建設の活動で期待すること(N=656:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館の活動で期待すること								
	合計	市民を対象にした人形文化の普及	岩槻の歴史や文化を学習できる場	市内の小・中学生への人形文化等の教育	海外を含めた一流の作品の紹介	日本の人形文化の振興	市内の市民団体・サークルの活動発表の場	若手や評価の定まっていな作家への支援	その他
合計	656	188	363	127	121	364	52	113	8
	100	28.7	55.3	19.4	18.4	55.5	7.9	17.2	1.2
岩槻区	139	47	84	26	21	58	15	15	4
	100	33.8	60.4	18.7	15.1	41.7	10.8	10.8	2.9
さいたま市(岩槻区以外)	226	69	115	46	52	130	16	50	3
	100	30.5	50.9	20.4	23	57.5	7.1	22.1	1.3
埼玉県(さいたま市外)	140	38	82	28	23	82	10	22	-
	100	27.1	58.6	20	16.4	58.6	7.1	15.7	-
その他	151	34	82	27	25	94	11	26	1
	100	22.5	54.3	17.9	16.6	62.3	7.3	17.2	0.7

7-2 年齢別（仮称）岩槻人形会館の活動で期待すること（複数回答）

- ・年齢別に（仮称）岩槻人形会館の活動で期待することを見ると、「岩槻の歴史や文化を学習できる場」の割合が最も高いのは、20代、30代、50代、70代。「日本の人形文化

の振興」の割合が最も高いのは、10代、40代、60代となっている。

- ・20代では「市内の小中学生への人形文化等教育」が「岩槻の歴史や文化を学習できる場」とともに最も多くなっている。

年齢別(仮称)岩槻人形会館建設の活動で期待すること(N=656:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館の活動で期待すること								
	合計	市民を対象にした人形文化の普及	岩槻の歴史や文化を学習できる場	市内の小・中学生への人形文化等の教育	海外を含めた一流の作品の紹介	日本の人形文化の振興	市内の市民団体・サークルの活動発表の場	若手や評価の定まっていない作家への支援	その他
合計	660	190	367	129	122	366	52	113	8
	100	28.8	55.6	19.5	18.5	55.5	7.9	17.1	1.2
10代	5	1	2	1	1	3	-	2	-
	100	20	40	20	20	60	-	40	-
20代	11	1	6	6	1	5	1	3	-
	100	9.1	54.5	54.5	9.1	45.5	9.1	27.3	-
30代	23	8	14	8	7	11	4	6	-
	100	34.8	60.9	34.8	30.4	47.8	17.4	26.1	-
40代	47	12	21	12	10	25	4	13	1
	100	25.5	44.7	25.5	21.3	53.2	8.5	27.7	2.1
50代	124	26	74	19	16	70	6	28	2
	100	21	59.7	15.3	12.9	56.5	4.8	22.6	1.6
60代	275	81	159	51	54	165	22	39	4
	100	29.5	57.8	18.5	19.6	60	8	14.2	1.5
70代以上	175	61	91	32	33	87	15	22	1
	100	34.9	52	18.3	18.9	49.7	8.6	12.6	0.6

7-3 岩槻との関係別(仮称)岩槻人形会館の活動で期待すること(複数回答)

- ・岩槻との関係別に(仮称)岩槻人形会館の活動で期待することを見ると、「岩槻生まれでもなく住んでもいない」と「その他」は「日本の人形文化の振興」の割合が高い。
- ・岩槻生まれもしくは岩槻に住んでいる人は「岩槻の歴史や文化を学習できる場」を上げる割合が高い。「岩槻生まれだが現在は岩槻に住んでいない」での割合が7割以上と特に高くなっている。

岩槻との関係別(仮称)岩槻人形会館建設の活動で期待すること(N=656:不明分除く)

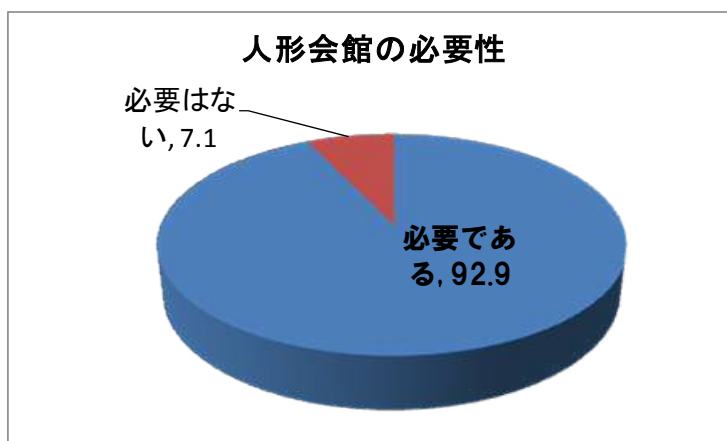
上段:件数 下段:%	岩槻人形会館の活動で期待すること								
	合計	市民を対象にした人形文化の普及	岩槻の歴史や文化を学習できる場	市内の小・中学生への人形文化等の教育	海外を含めた一流の作品の紹介	日本の人形文化の振興	市内の市民団体・サークルの活動発表の場	若手や評価の定まっていない作家への支援	その他
合計	615	172	345	117	110	341	49	108	7
	100	28	56.1	19	17.9	55.4	8	17.6	1.1
生まれてからずっと岩槻在住	30	9	19	6	2	13	3	4	1
	100	30	63.3	20	6.7	43.3	10	13.3	3.3
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	70	21	42	14	19	28	7	11	-
	100	30	60	20	27.1	40	10	15.7	-
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	28	12	16	2	1	14	3	1	2
	100	42.9	57.1	7.1	3.6	50	10.7	3.6	7.1
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	10	4	8	2	1	6	2	1	-
	100	40	80	20	10	60	20	10	-
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	1	5	1	2	4	-	2	-
	100	14.3	71.4	14.3	28.6	57.1	-	28.6	-
岩槻生まれでもなく住んでもいない	356	96	189	71	70	207	26	75	3
	100	27	53.1	19.9	19.7	58.1	7.3	21.1	0.8
その他	114	29	66	21	15	69	8	14	1
	100	25.4	57.9	18.4	13.2	60.5	7	12.3	0.9

8. (仮称) 岩槻人形会館の必要性 (単数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館が必要かどうかを尋ねたところ、「必要である」が 92.9% (618 人)、「必要はない」が 7.1% (47 人) であった。
- ・9 割以上が (仮称) 岩槻人形会館を必要性を感じている。

(仮称) 岩槻人形会館の必要性 (N=665: 不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
必要である	618	92.9
必要はない	47	7.1
サンプル数	665	100.0



8-1 居住地別 (仮称) 岩槻人形会館の必要性 (単数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館の必要性を居住地別にみると、「必要である」が最も多いのは、意外にも「その他 (埼玉県外)」の 98.7% であった。
- ・逆に「必要である」の数字が最も低いのは「岩槻区」の 81.3% である。これは、「岩槻区」の回答には、生活の場であるが故の意見が反映されていると推測される。しかしながら、岩槻区でも 8 割以上が「必要である」との回答している。

居住地別 (仮称) 岩槻人形会館の必要性 (N=636: 不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館は必要か		
	合計	必要である	必要はない
合計	636	590	46
	100	92.8	7.2
岩槻区	144	117	27
	100	81.3	18.8
さいたま市(岩槻区以外)	210	197	13
	100	93.8	6.2
埼玉県(さいたま市外)	133	129	4
	100	97	3
その他	149	147	2
	100	98.7	1.3

8-2 年齢別（仮称）岩槻人形会館の必要性（単数回答）

- ・（仮称）岩槻人形会館の必要性を年齢別にみると、すべての年代で「必要である」が9割以上となっている。年代に限らず（仮称）岩槻人形会館は必要と考えていることが伺える。

年齢別（仮称）岩槻人形会館の必要性（N=640：不明

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館は必要か		
	合計	必要である	必要はない
合計	640	594	46
	100	92.8	7.2
10代	5	5	-
	100	100	-
20代	11	10	1
	100	90.9	9.1
30代	21	21	-
	100	100	-
40代	46	43	3
	100	93.5	6.5
50代	115	108	7
	100	93.9	6.1
60代	272	246	26
	100	90.4	9.6
70代以上	170	161	9
	100	94.7	5.3

8-3 岩槻との関係別（仮称）岩槻人形会館の必要性（単数回答）

- ・（仮称）岩槻人形会館の必要性を岩槻との関係別にみると、岩槻との関係性が深いほど「必要である」の割合が低くなる。
- ・岩槻区との関係が深いほど、岩槻に住んでいる年数が長いほど、人形文化は身近にあるあたりまえの存在なので、外から来る人が感じる岩槻固有の文化のすばらしさや良さを実感できていない可能性がある。
- ・地域外の人（よそ者）の方がその地域の良さを客観的に見ることが出来るということかもしれない。

岩槻との関係別（仮称）岩槻人形会館の必要性（N=640：不明分除く）

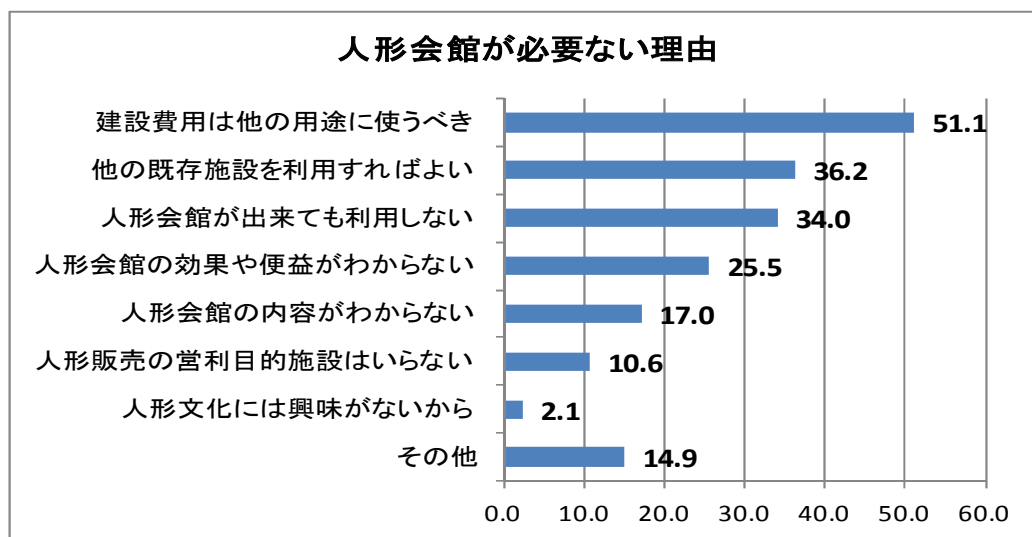
上段:件数 下段:%	岩槻人形会館は必要か		
	合計	必要である	必要はない
合計	596	552	44
	100	92.6	7.4
生まれてからずっと岩槻在住	30	23	7
	100	76.7	23.3
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	72	58	14
	100	80.6	19.4
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	28	24	4
	100	85.7	14.3
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	13	11	2
	100	84.6	15.4
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	7	-
	100	100	-
岩槻生まれでもなく住んでもいない	338	323	15
	100	95.6	4.4
その他	108	106	2
	100	98.1	1.9

9. (仮称) 岩槻人形会館が不要ない理由 (複数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館が不要ないと回答した方に「不要ない」理由を聞いたところ、「建設費用は他の用途に使うべき」が 51.1% (24 人)、「他の既存施設を利用すればよい」が 36.2% (17 人)、「人形会館が出来ても利用しない」が 34.0% (16 人) であった。

(仮称) 岩槻人形会館が不要ない理由 (N=47: 不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
建設費用は他の用途に使うべきだと思う	24	51.1
他の既存施設を利用すればよい	17	36.2
人形会館が出来ても利用しない	16	34.0
人形会館の効果や便益がわからない	12	25.5
人形会館の内容がわからない	8	17.0
人形販売のための営利目的施設はいらない	5	10.6
人形文化には興味がないから	1	2.1
その他	7	14.9
サンプル数	47	100.0



※その他意見は以下の通り

- ・人形だけでなく、別の物と共存
- ・駅から遠い (立地が悪い)
- ・ワッツがまだ空いている所があり、それをまとめて広い場所を作り、利用したらよい。駅に近いのがよい。そして近くの人形店にも立ち寄っていただける。
- ・コストをあまりかけず、既存施設の改修 (ワッツ活用などをまず考えるべき)
- ・入館者がいない。
- ・全国を回って、一つ一つ人形を知らせて行けるのか。芸術文化はとても良いと思いますが、「ハコ物」は無駄な気がする。館山の人形館は、全国を回ったのでできたのではないか。
- ・運営方法によります。
- ・斜陽文化に巨額な費用を使うのはどうか。現在人形店でやっている展示場で十分では？

9-1 居住地別 (仮称) 岩槻人形会館が不要ない理由 (複数回答)

- ・(仮称) 岩槻人形会館が不要ない理由を居住地別に見ると、全てのカテゴリで「建設費用は他の用途に使うべき」が最も多くなっている。
- ・地元岩槻区を見ると、「人形会館が出来ても利用しない」49.1%で2番目に多く、また、

「人形会館の効果や便益がわからない」とする理由もあった。

- ・(仮称)岩槻人形会館は、地元の岩槻区の市民に活用される施設であるべきなので、会館の内容や有効性について地元に応援していくことが必要と思われる。

居住地別(仮称)岩槻人形会館が必要ない理由(N=47:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が必要でない理由								
	合計	人形会館が 出来ても利 用しない	人形文化に は興味がないから	建設費用は 他の用途に 使うべきだ と思う	他の既存施 設を利用す ればよい	人形会館の 内容がわか らない	人形会館の 効果や便益 がわからない	人形販売の ための営利 目的施設は いらぬ	その他
合計	46 100	16 34.8	1 2.2	24 52.2	16 34.8	8 17.4	12 26.1	5 10.9	7 15.2
岩槻区	27 100	13 48.1	-	15 55.6	12 44.4	5 18.5	8 29.6	3 11.1	1 3.7
さいたま市(岩槻 区以外)	13 100	3 23.1	1 7.7	4 30.8	4 30.8	2 15.4	2 15.4	2 15.4	4 30.8
埼玉県(さいたま 市外)	4 100	-	-	4 100	-	1 25	2 50	-	1 25
その他	2 100	-	-	1 50	-	-	-	-	1 50

9-2 年齢別(仮称)岩槻人形会館が必要ない理由(複数回答)

- ・(仮称)岩槻人形会館が必要ない理由を年齢別に見ると、60代に「必要ない」とする人が多くなっている。
- ・必要ない理由は、「建設費用は他の用途に使うべき」、「他にも施設を利用すればよい」とともに、「人形会館が出来ても利用しない」という理由も多くある。

年齢別(仮称)岩槻人形会館が必要ない理由(N=46:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が必要でない理由								
	合計	人形会館が 出来ても利 用しない	人形文化に は興味がないから	建設費用は 他の用途に 使うべきだ と思う	他の既存施 設を利用す ればよい	人形会館の 内容がわか らない	人形会館の 効果や便益 がわからない	人形販売の ための営利 目的施設は いらぬ	その他
合計	46 100	16 34.8	1 2.2	23 50	17 37	8 17.4	12 26.1	5 10.9	7 15.2
10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	1 100	-	-	-	1 100	-	-	-	-
30代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40代	3 100	-	-	2 66.7	-	-	-	-	2 66.7
50代	7 100	1 14.3	-	5 71.4	1 14.3	-	2 28.6	-	1 14.3
60代	26 100	11 42.3	-	12 46.2	12 46.2	6 23.1	5 19.2	4 15.4	3 11.5
70代以上	9 100	4 44.4	1 11.1	4 44.4	3 33.3	2 22.2	5 55.6	1 11.1	1 11.1

9-3 岩槻との関係別（仮称）岩槻人形会館が必要ない理由（複数回答）

- ・（仮称）岩槻人形会館が必要ない理由を岩槻との関係別に見ると、「必要ない」とする人が多いのは、「岩槻生まれでもなくすんでもいない」と「生まれは岩槻ではないが岩槻に住んで30年以上」であった。
- ・いずれも必要ない理由は、「建設費用は他の用途に使うべき」、「他も施設を利用すればよい」が多くなっているが、「生まれは岩槻ではないが岩槻に住んで30年以上」では「人形会館が出来ても利用しない」や「人形会館の内容がわからない」、「人形会館の効果や便益がわからない」という理由も挙げられている。
- ・地元へのPRが不足している面は否めない。

岩槻との関係別（仮称）岩槻人形会館が必要ない理由（N=46：不明分除く）

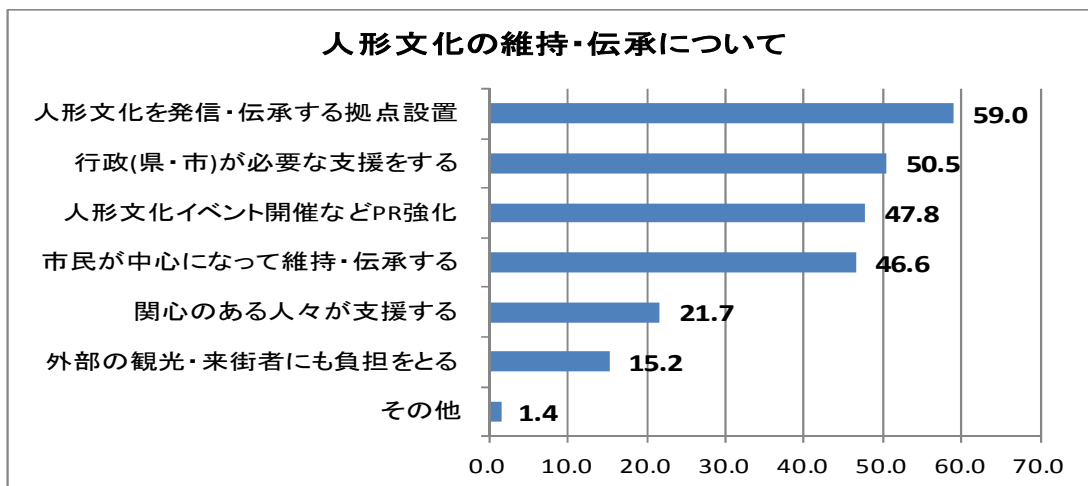
上段:件数 下段:%	岩槻人形会館が必要でない理由								
	合計	人形会館が出来ても利用しない	人形文化には興味がないから	建設費用は他の用途に使うべきだと思う	他の既存施設を利用すればよい	人形会館の内容がわからない	人形会館の効果や便益がわからない	人形販売のための営利目的施設はほしくない	その他
合計	44 100	15 34.1	1 2.3	23 52.3	16 36.4	8 18.2	11 25	5 11.4	6 13.6
生まれてからずっと岩槻在住	7 100	4 57.1	-	4 57.1	5 71.4	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	14 100	4 28.6	-	9 64.3	4 28.6	4 28.6	4 28.6	2 14.3	1 7.1
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	4 100	2 50	-	2 50	-	-	1 25	-	-
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	2 100	1 50	-	2 100	2 100	-	2 100	-	-
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩槻生まれでもなく住んでもない	15 100	3 20	1 6.7	6 40	5 33.3	3 20	3 20	2 13.3	4 26.7
その他	2 100	1 50	-	-	-	-	-	-	1 50

10. 岩槻の人形文化の維持・伝承について（複数回答）

- ・岩槻の人形文化はどのように維持・伝承するべきかを尋ねたところ、「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」が59.0%（389人）で最も多く、次いで「行政（県・市）が必要な支援をする」が50.5%（333人）、「人形文化イベント開催などPRを強化する」が47.8%（315人）、「市民が中心になって維持・伝承する」46.6%（307人）であった。
- ・人形文化の維持・伝承は、人形会館のような拠点で、行政・市民が一緒になってPRをすることで可能になると考えている。

岩槻の人形文化の維持・伝承について（N=659：不明分除く）

カテゴリ	件数	ウェイト%
人形文化を発信・伝承する拠点をつくる	389	59.0
行政（県・市）が必要な支援をする	333	50.5
人形文化イベント開催などPRを強化する	315	47.8
市民が中心になって維持・伝承する	307	46.6
関心のある人々が支援する	143	21.7
外部の観光・来街者にも負担をとる	100	15.2
その他	9	1.4
サンプル数	659	100.0



※その他意見は以下の通り

- ・世界人形博覧会への一歩としたい
- ・人形産業の展開をもっと進める
- ・人々が集いやすい拠点とする観光センター的役割を担う
- ・人間にとって、人形（形代）は必要です。
- ・市内の学校でも、より人形文化に関心を持つような学習に力を入れる。
- ・作家のコンクールなど。伝統技法利用で、フィギュアではなく。
- ・たくさんの人に知ってもらいたいため、行政が指揮を執ってほしい。
- ・世代を超えたつながりを文化を通じてつくること。
- ・人形の専門家による啓蒙活動。「岩槻の人形」ではなく、「日本の文化財としての人形」として考えてほしい。

10-1 居住地別岩槻の人形文化の維持・伝承について（複数回答）

- ・岩槻の人形文化はどのように維持・伝承するべきかを居住地別に見ると、全てのカテゴリーで「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」が最も多くなった。
- ・地元岩槻区では、「市民が中心になって維持・伝承する」が2番目に多くなっており、人形文化は自分たちの力で維持・伝承するという意識が強い。

居住地別岩槻の人形文化の維持・伝承について(N=648:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻の人形文化はどのように維持・伝承すべきか							
	合計	関心のある人々が支援する	市民が中心になって維持・伝承する	外部の観光・来街者にも負担をとる	行政(県・市)が必要な支援をする	人形文化を発信・伝承する拠点をつくる	人形文化イベント開催などPRを強化する	その他
合計	648	138	303	98	328	383	311	9
	100	21.3	46.8	15.1	50.6	59.1	48	1.4
岩槻区	142	42	78	14	71	81	71	5
	100	29.6	54.9	9.9	50	57	50	3.5
さいたま市(岩槻区以外)	220	45	94	38	110	137	107	3
	100	20.5	42.7	17.3	50	62.3	48.6	1.4
埼玉県(さいたま市外)	136	23	59	28	72	80	63	-
	100	16.9	43.4	20.6	52.9	58.8	46.3	-
その他	150	28	72	18	75	85	70	1
	100	18.7	48	12	50	56.7	46.7	0.7

10-2 年齢別岩槻の人形文化の維持・伝承について（複数回答）

- ・岩槻の人形文化はどのように維持・伝承するべきかを年齢別に見ると、
 10代：「市民が中心となって」と「イベント開催などPR強化」
 20代、30代：「人形文化イベント開催などPRを強化する」
 40代：「行政(県・市)が必要な支援をする」
 50代、60代、70代：「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」
 が最も多い。

年齢別岩槻の人形文化の維持・伝承について(N=654:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻の人形文化はどのように維持・伝承すべきか							
	合計	関心のある人々が支援する	市民が中心になって維持・伝承する	外部の観光・来街者にも負担をとる	行政(県・市)が必要な支援をする	人形文化を発信・伝承する拠点をつくる	人形文化イベント開催などPRを強化する	その他
合計	654	143	306	99	329	385	311	9
	100	21.9	46.8	15.1	50.3	58.9	47.6	1.4
10代	5	2	3	-	2	2	3	-
	100	40	60	-	40	40	60	-
20代	11	6	5	1	4	4	7	-
	100	54.5	45.5	9.1	36.4	36.4	63.6	-
30代	23	8	12	4	11	13	15	-
	100	34.8	52.2	17.4	47.8	56.5	65.2	-
40代	45	16	20	8	30	25	24	3
	100	35.6	44.4	17.8	66.7	55.6	53.3	6.7
50代	123	28	55	22	64	74	64	2
	100	22.8	44.7	17.9	52	60.2	52	1.6
60代	277	51	136	41	140	169	132	-
	100	18.4	49.1	14.8	50.5	61	47.7	-
70代以上	170	32	75	23	78	98	66	4
	100	18.8	44.1	13.5	45.9	57.6	38.8	2.4

10-3 岩槻との関係別岩槻の人形文化の維持・伝承について（複数回答）

- ・岩槻の人形文化はどのように維持・伝承するべきかを岩槻との関係別に見ると、
 「人形文化を発信・伝承する拠点をつくる」が多いのは、「岩槻生まれでもなく住んでもいない」と「その他」であった。
- ・「市民が中心になって維持・伝承する」が多いのは、「生まれは違うが岩槻に住んで30年以上」と「岩槻生まれだが現在は住んでいない」であった。

年齢別岩槻の人形文化の維持・伝承について(N=612:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻の人形文化はどのように維持・伝承すべきか							
	合計	関心のある人々が支援する	市民が中心になって維持・伝承する	外部の観光・来街者にも負担をとる	行政(県・市)が必要な支援をする	人形文化を発信・伝承する拠点をつくる	人形文化イベント開催などPRを強化する	その他
合計	612	135	284	93	313	362	293	9
	100	22.1	46.4	15.2	51.1	59.2	47.9	1.5
生まれてからずっと岩槻に住	30	9	14	4	15	16	19	-
	100	30	46.7	13.3	50	53.3	63.3	-
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	70	15	41	9	40	38	38	5
	100	21.4	58.6	12.9	57.1	54.3	54.3	7.1
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	27	11	14	-	14	19	10	-
	100	40.7	51.9	-	51.9	70.4	37	-
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	12	7	7	2	4	5	7	-
	100	58.3	58.3	16.7	33.3	41.7	58.3	-
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	6	3	4	-	2	3	3	-
	100	50	66.7	-	33.3	50	50	-
岩槻生まれでもなく住んでもいない	352	74	152	64	185	211	164	4
	100	21	43.2	18.2	52.6	59.9	46.6	1.1
その他	115	16	52	14	53	70	52	-
	100	13.9	45.2	12.2	46.1	60.9	45.2	-

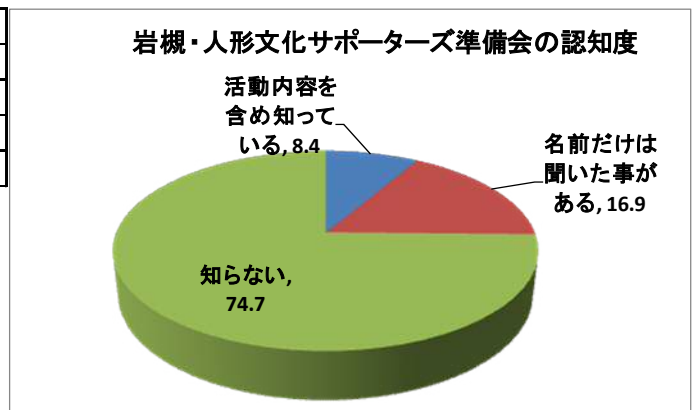
3. 岩槻・人形文化サポーターズ準備会について

1 1. 岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度を尋ねたところ、「知らない」が 74.7%（505）人で最も多く、次いで「名前だけは聞いたことがある」が 16.9%（114 人）、「活動内容を含めて知っている」が 8.4%（57 人）であった。
- ・「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の名前は今回のアンケートで初めて公になったといっても過言でないので、予想された結果である。今後は活動の活発化に伴って、「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の名前を前面に出していくことも検討することが望まれる。

岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度(N=676:不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
活動内容を含めて知っている	57	8.4
名前だけは聞いた事がある	114	16.9
知らない	505	74.7
サンプル数	676	100.0



1 1-1 居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度を居住地別に見ると、各カテゴリーともに「知らない」が最も多くなっているが、地元の岩槻では約 2 割が「活動を含めて知っている」としており、「名前だけは聞いたことがある」含めると、47.2%の認知度がある。

居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度(N=676:不明分除く)

上段:件数 下段:%	「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の認知度			
	合計	活動内容を含めて知っている	名前だけは聞いた事がある	知らない
合計	667	54	113	500
	100	8.1	16.9	75
岩槻区	144	28	40	76
	100	19.4	27.8	52.8
さいたま市(岩槻区以外)	231	15	34	182
	100	6.5	14.7	78.8
埼玉県(さいたま市外)	140	7	20	113
	100	5	14.3	80.7
その他	152	4	19	129
	100	2.6	12.5	84.9

1 1 - 2 年齢別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度を年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「活動内容まで知っている」割合が高くなっている。
- ・今後は年代を問わずに浸透を図っていくことが求められるが、特に50代以下の層への浸透は大きな課題となっている。

年齢別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度(N=669:不明分除く)

上段:件数 下段:%	「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の認知度			
	合計	活動内容を含め知っている	名前だけは聞いた事がある	知らない
合計	669	55	114	500
	100	8.2	17	74.7
10代	5	-	1	4
	100	-	20	80
20代	11	1	-	10
	100	9.1	-	90.9
30代	23	-	6	17
	100	-	26.1	73.9
40代	47	2	10	35
	100	4.3	21.3	74.5
50代	125	11	17	97
	100	8.8	13.6	77.6
60代	283	20	46	217
	100	7.1	16.3	76.7
70代以上	175	21	34	120
	100	12	19.4	68.6

1 1 - 3 岩槻との関係別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度を岩槻との関係別に見ると、「生まれてからずっと岩槻在住」と「生まれは違うが岩槻に住んで30年以上」は、他のカテゴリーに比べて認知度が高いのがわかる

岩槻との関係別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の認知度(N=669:不明分除く)

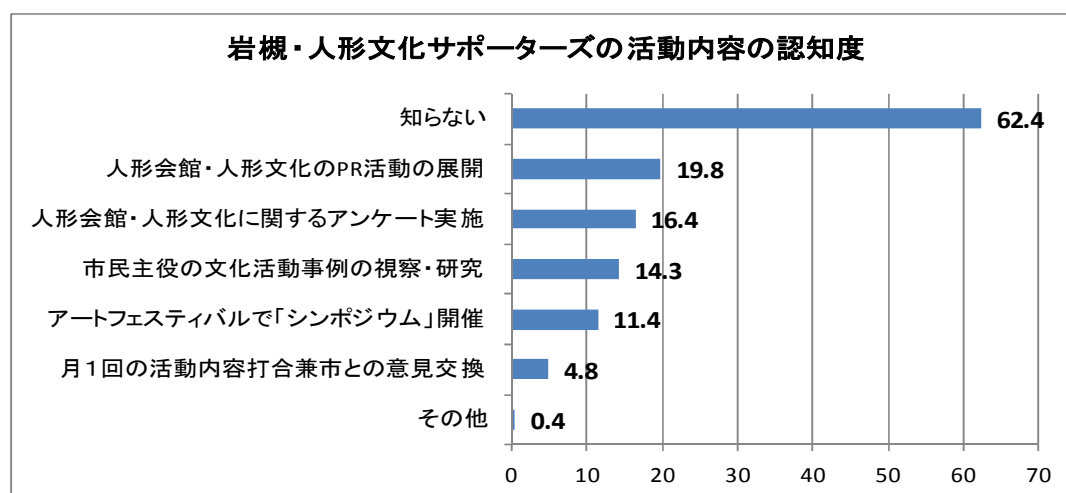
上段:件数 下段:%	「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の認知度			
	合計	活動内容を含め知っている	名前だけは聞いた事がある	知らない
合計	626	53	107	466
	100	8.5	17.1	74.4
生まれてからずっと岩槻在住	30	6	10	14
	100	20	33.3	46.7
生まれは違うが岩槻に住んで30年以上	72	15	22	35
	100	20.8	30.6	48.6
生まれは違うが岩槻に住んで10年以上30年未満	28	4	7	17
	100	14.3	25	60.7
生まれは違うが岩槻に住んで10年未満	13	1	-	12
	100	7.7	-	92.3
岩槻生まれだが、現在は岩槻に住んでいない	7	2	-	5
	100	28.6	-	71.4
岩槻生まれでもなく住んでいない	359	17	48	294
	100	4.7	13.4	81.9
その他	117	8	20	89
	100	6.8	17.1	76.1

1 2. 岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度（複数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動について尋ねたところ、「知らない」が 62.4%（324 人）で最も多い。
- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動で認知されているのは、「岩槻人形会館および人形文化に関する PR 活動の展開」19.8%（103 人）で最も多く、次いで「岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施」が 16.4%（85 人）、「市民主役の文化活動事例の視察・研究」が 14.3%（74 人）となっている。

岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度 (N=519: 不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
知らない	324	62.4
岩槻人形会館および人形文化に関するPR活動の展開	103	19.8
岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施	85	16.4
市民主役の文化活動事例の視察・研究	74	14.3
アートフェスティバルでの「シンポジウム」の開催	59	11.4
月1回程度の活動内容打ち合わせ会(市担当者との意見交換)	25	4.8
その他	2	0.4
サンプル数	519	100



1 2 - 1 居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度（複数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度を居住地別にみると、地元岩槻区では「知らない」が 39.0%で 61.0%が何らかの活動を認知している。
- ・岩槻区で最も知られている活動は、「岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施」であった。これは「やまぶき祭り」や「まちかど雛めぐり」でのアンケート実施によるところが大きい。
- ・2 番目は「岩槻人形会館および人形文化に関する PR 活動の展開」であった。

居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度(N=512:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動内容の認知度							
	合計	市民主役の文化活動事例の視察・研究	岩槻人形会館および人形文化に関するPR活動の展開	岩槻人形会館・人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施	アートフェスティバルでの「シンポジウム」の開催	月1回程度の活動内容打ち合わせ会(市担当者との意見交換)	知らない	その他
合計	512	73	102	84	59	25	320	2
	100	14.3	19.9	16.4	11.5	4.9	62.5	0.4
岩槻区	118	28	40	43	28	19	46	-
	100	23.7	33.9	36.4	23.7	16.1	39	-
さいたま市(岩槻区以外)	170	18	27	16	15	2	121	1
	100	10.6	15.9	9.4	8.8	1.2	71.2	0.6
埼玉県(さいたま市外)	107	15	19	17	10	2	68	-
	100	14	17.8	15.9	9.3	1.9	63.6	-
その他	117	12	16	8	6	2	85	1
	100	10.3	13.7	6.8	5.1	1.7	72.6	0.9

12-2 年齢別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度(複数回答)

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度を年齢別にみると、年代が高い層の方が認知度は高くなっている。各年代とも
- ・高年齢層では、「岩槻人形会館および人形文化に関するPR活動の展開」と「岩槻人形会館および人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施」で認識されている。
- ・また、50代で「市民主役の文化活動事例の視察・研究」が2番目であった。

年齢別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動の認知度(N=516:不明分除く)

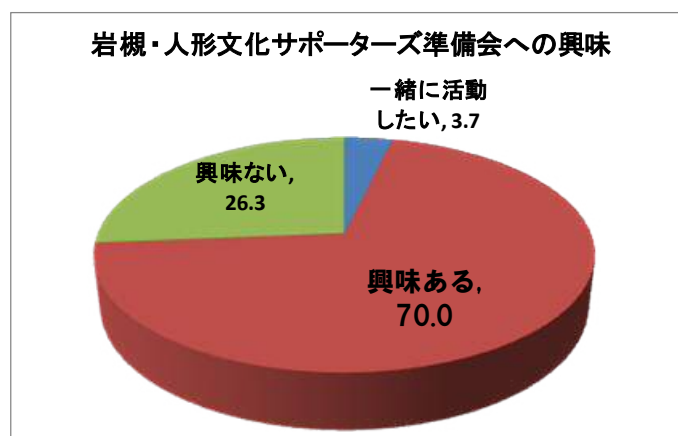
上段:件数 下段:%	「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」の活動で見たり聞いたことがある活動							
	合計	市民主役の文化活動事例の視察・研究	岩槻人形会館及び人形文化に関するPR活動の展開	岩槻人形会館及び人形文化の意識や関心等を把握するアンケートの実施	アートフェスティバルでの「シンポジウム」の開催	月1回程度の活動内容打ち合わせ会(市担当者との意見交換)	知らない	その他
合計	516	73	103	85	59	25	322	2
	100	14.1	20	16.5	11.4	4.8	62.4	0.4
10代	5	-	-	-	-	1	4	-
	100	-	-	-	-	20	80	-
20代	11	-	1	-	-	-	10	-
	100	-	9.1	-	-	-	90.9	-
30代	17	1	3	2	-	1	13	-
	100	5.9	17.6	11.8	-	5.9	76.5	-
40代	39	5	3	4	7	2	27	-
	100	12.8	7.7	10.3	17.9	5.1	69.2	-
50代	102	22	27	18	16	2	60	1
	100	21.6	26.5	17.6	15.7	2	58.8	1
60代	212	30	41	33	21	7	137	1
	100	14.2	19.3	15.6	9.9	3.3	64.6	0.5
70代以上	130	15	28	28	15	12	71	-
	100	11.5	21.5	21.5	11.5	9.2	54.6	-

1 3. 岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動に興味があるかどうか尋ねたところ、「興味ある」が70.0%（399人）、「興味ない」が26.3%（150人）、「一緒に活動したい」が3.7%（21人）であった。
- ・7割以上が岩槻・人形文化サポーターズ準備会活動に興味を示している。今後は活動に興味をしている人と連携することを検討する必要がある。

岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味(N=570:不明分除く)

カテゴリ	件数	ウェイト%
一緒に活動したい	21	3.7
興味ある	399	70.0
興味ない	150	26.3
サンプル数	570	100.0



1 3-1 居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動に興味について居住地別にみると、各カテゴリーとも「興味ある」が7割近くある。居住地に限らず、岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動に興味を持ってもらっている。
- ・一緒に活動したいは少数（11人）ではあるが、地元の「岩槻区」が一番多い。

居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味(N=563:不明分除く)

上段:件数 下段:%	岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味			
	合計	一緒に活動したい	興味ある	興味ない
合計	563	20	394	149
	100	3.6	70	26.5
岩槻区	137	11	97	29
	100	8	70.8	21.2
さいたま市(岩槻区以外)	186	3	131	52
	100	1.6	70.4	28
埼玉県(さいたま市外)	117	4	79	34
	100	3.4	67.5	29.1
その他	123	2	87	34
	100	1.6	70.7	27.6

1 3 - 2 年齢別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味（単数回答）

- ・岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動に興味について年齢別にみると、70代が最も興味が高く、次いで50代、40代の順である。
- ・60代は「一緒に活動したい」とする人数は最も多くなっている。

居住地別岩槻・人形文化サポーターズ準備会の活動への興味(N=567:不明分除く)

上段:件数 下段:%	「岩槻・人形文化サポーターズ準備会」活動への興味			
	合計	一緒に活動 したい	興味ある	興味ない
合計	567	21	397	149
	100	3.7	70	26.3
10代	5	1	3	1
	100	20	60	20
20代	11	-	7	4
	100	-	63.6	36.4
30代	22	-	13	9
	100	-	59.1	40.9
40代	47	1	34	12
	100	2.1	72.3	25.5
50代	112	4	82	26
	100	3.6	73.2	23.2
60代	233	8	150	75
	100	3.4	64.4	32.2
70代以上	137	7	108	22
	100	5.1	78.8	16.1

1 4. 自由意見

- ・自由意見については以下の通り

■人形会館について
建設されることを祈念しています。
岩槻に来る機会が増えると思います。
会館を作られたら、どしどしイベント等で利用できるようにしてほしい。
日本を代表する建物を期待します。
ゆっくり感性豊かな味わい深い施設を望みます。
城址公園に隣した現予定地が他に類を見ない情景を利した適地
岩槻の再生のため、人形文化の発信と継承のために絶対に必要な施設と思います。実現を心より祈ります。
人形店が集まり、観光客の拠点にもなる駅や商店街のエリアを大事にした計画にした方が良いと思います。
早期建設をしてもらいたい。
岩槻の人形の観光の中心となるよう、期待しています。もしオープンしたら、駅からの交通手段も考えてほしいと思います。団塊の世代で60～70代が多くなると思いますが、やはりタクシー利用では観光客が増えるとは思いませんので。地下鉄を岩槻に、頑張りましょう！
市の中の区民住居にある人形生産地場所ではなく、県外・国際的文化交流のひとつの発信基地となる取組みにできればと思う。
誇れるものがあることが前向き、発展につながります。早急に建設されるよう期待しています。
地域の観光センター的な役割を人々が集う道の駅的機能を有する施設。岩槻城跡公園との連携。杉戸町にあるアグリパークの盛況をぜひ参考にしてください。
老人が毎日でも出かけられる場所を作ってほしい。
会館は新たに作る必要なし。古いものを大事に使用。
足踏みしている建設が無事に進むことを願っています。活動している方を通じて、視野を広めていきたいです。岩槻が元気になればと思います。
駅から遠すぎて、足の便が悪いです。
さいたま市・岩槻区の観光拠点となると思うので、岩槻区民から盛り上げ、早期建設に向けた声を大きくしましょう。
人形会館ができれば伺いたいです。
もっと人形会館をPRしてほしい。
さいたま市の有名な場所になればと思います。
開館が楽しみです。

■人形会館について
ぜひ行ってみたいと思っています。
大宮にある盆栽会館(?)と連携して、海外の盆栽ファン夫婦を誘うと、二重に来館者が増えるのでは？
歴史的文化財としての人形保存・展示の他、人形が実際にどのように人に寄り添ってきたかを体感できる施設であってほしい。例えば①日本住宅の中でひな祭りを再現して体験したり、レプリカで遊んだりできる。②日本文化の中で人形がどのような使われ方をしていたかを体験する。香道など、お人形を使った組香でゲームをする。③日本文学や行事の中で人形が出てくる場面を再現して体験する。源氏物語の「紅葉賀」で若紫の雑遊びで、犬君が「雑やらい」のまねをして、雑御殿を壊してしまう場面再現。人形を通して源氏物語等を身近に感じたり、節分のルーツを知ったりできる。などなど、人形開館が広い層の方々にもアピールできる博物館になることを望みます。
早くできるといいですね。
「余計な予算を使ってなんだよ」と言われない施設にしてほしい。
是非会館を早く建ててください。
完成したら、是非足を運びたい。
木目込み人形講座とかも体験できるいいと思います。交通の便を良くしてください。リピーターが来るように、地元の農産物や地元のお菓子とか置いたら良いと思います。
今の子供たち(いじめ等)に必要なのは、人形を慈しむ心ではないでしょうか。大人も子供も、いろんな人形を見て、心優しくなってほしいと思います。
規模は大きなくても、入場者が楽しめること。
会館ができるのは嬉しいことです。よい人形、質の良いものの作成のための支援が必要です。
土地が決まっているので、早期に着工を望みます。
人形会館と岩槻駅を結ぶバスを望みます。30分～1時間おき(無料)
早期の建設・オープンを望む。
できるだけ早く完成を望んでいます。楽しみにしています。
いつ頃から建て始まるのですか？
ぜひ建設してください。
既存の施設を利用すれば良い。もっと駅に近い所へ？
完成イベントが企画されたら、参加したい。
気になるのは交通の便です。
岩槻に行っても、人形を見せたい所がほとんどない。お人形が大切に保存されて、もっと楽しめる人形の家がほしい。
早く建ててほしい。
展示内容は、魅力あるものが作れると思うですが、今の予定地が駅から遠いのが気になる。歩く途中に見所があれば苦にならないが、街全体がもっと統一感というか、盛り上げていこうという雰囲気を作り上げていく必要があると思います。
単なる“展示”を見たりするだけの一方通行的な会館ではなく、人形職人の想いが伝わり、又、来館者の気持ちと作り手の気持ち双方が出来るような、来て良かった、温かな気持ちになって自分の来方を振り返れるような場所にしてほしいです。展示に作り手のメッセージなどを添えたら、興味深いと思います。地域全体で関わっていきけるような場所にしてほしいです。
人形文化、絆の文化拠点となる施設を早く実現してもらいたい。子供たちへの文化芸術レベルの向上に役立ってほしい。
多少の時間はかかってもよいから、良いものを作ってほしい。日本一が良い。
作るときは良いが、維持・管理等の費用はどこからどのくらい必要なのが不明で、途中で先細りになる不安はないのか？費用負担の続行に少し不安を感じます。
所在地を全面的にPRしてほしい(地図等を含めて)。活動的な拠点であってほしいです。
活発な活動を行なっていただけると嬉しいです。
なるべく入場料を安く、多くの人に知ってもらいたい。
楽しみにしております。
一日も早く人形会館建設を望みます。街がにぎわうように。
岩槻のほうで人形館事業の一つとして作ってください。参加したいです。
地元の価値ある文化も紹介してほしい。岩槻らしさを人形で表現。城址公園とのつながりを考えてください。(例 東京の古河庭園の建物と庭園)
高橋まゆみ人形館は、高橋まゆみさんの人形の魅力に人々が行ってみたいと思うのだが、岩槻にわざわざひな人形を見に人々が来るのか・・・？リピーターの人が生まれるための魅力が作れるのか？疑問はあるのでは？
ぜひ充実した人形会館にしましょう！
人形の力を借りて、これからへつなげていくことを考えてください。歴史を守るだけでなく。
岩槻にあった人形ではない人形を人形会館にというのがおかしいと、一般の意見が多い。それに対して、岩槻は人形づくりの全国の拠点で、心の絆の拠点であるから価値があると、強く広めてほしい。
アクセスのための場所・位置が問題。一度職員に歩いてもらったら。
岩槻人形を広く紹介するためには、はっきりコンセプトを持つべき。例えば、ひな祭りイベントのPRのとき、ボランティア的に扱う方がよい。職人根性で商売を前面に出している気がする。
継承者育成のための研修施設が必要。
岩槻の産業のひとつとして、人形は江戸時代後半からと聞いているので、人形会館でさらに広めてほしい。
会館建設の目的・効果・市民生活の影響等をわかりやすく市民に発信する。目的達成のために実施活動や内容等も広く紹介。
楽しみにしています。
ステキな会館を期待します。
大規模でなくて良い。維持費を考えてください。
人形の町をもっと大事にすべき。(会館はできた方がよい)
人形会館はぜひ作って、伝統文化を絶やさない拠点にすることが良いと思います。
城下町は全国にたくさんありますが、“人形の町”は岩槻が唯一とも言えます。岩槻区の町おこしは、“人形中心”と思います。
完成が大変待ち遠しいです。

このようなものは、5年も経つとほこりをかぶって、受付がボンヤリ座っているだけ。生き生きとした「動」の会館にしてほしい。
人形会館の完成を楽しみにしています。
収蔵、収集、展示、公開等をしっかり行なうためにも、施設は必要だと思うので、頑張ってください。
早くできるといいなと思います。
できたら行きます。頑張ってください！
喫茶室などもほしいです。
できることを楽しみにしています。(今展示のひなに会えるのを楽しみに)
できたら見に行きたいと思います。
もっと多くの人に会館の活動を知らせる。
完成したら行ってみたい。
実家が東京神田ですが、近くの浅草橋にあった人形問屋さんが多数こちらに引越されたと聞きました。寂しく思っていたのですが、そういうことなら発展してもらいたいと思います。
東京都に住んでいるので、ほとんど知識がありません。PRを。
早めに行けるといい。
早く実現してほしい。
岩槻の古い・新しい両方の良いもの(人形)が一堂に集められて、ゆっくり見ることができたら、それも良いと思います。点在している所を歩いて巡るのも楽しいですが。
2年続けて岩槻に行きました。もっとPRを。
人形会館と共に、1年中人々が集まれる(子供達共々)場所となってほしいと切に願っております。
もっと大きく広げないと、知らない人が多い。
駅から近い方がよいと思います。
先のことを考えて。維持費等
仮に完成して、維持費が赤字の場合、公費で賄うのは勘弁してください。
人形の町として謳っていらっしゃるのでしたら、そこに人形の家を作る必要があるのでしょうか。私は考えますが。
岩槻区民の真意をよく確かめて着工すべき。
旧岩槻市役所の建物を改修して人形会館にすればよいと思う。
箱物を作ったら、何か良い事があるという発想は、過去に学んでいない。
建設の良し悪しについて、よく理解できていません。必要経費が多額でしたら、維持費も多大となり、その支出をどうする？
■人形文化について
郷土の文化に誇りを持って発信したい。
伝統文化を絶やさないよう頑張ってください。
日本の人形文化は、他の国では見ることでできないほど水準が高いものだと思うので、広く浸透するよう活動してください。人形コレクターの所蔵品の公開を定期的にしていただくと面白いのではないかと思います。(有名・無名のコレクターを問わず)
良い文化は広げていくべきだと思います。
人形文化を守るため、ぜひ大事に見守りたいと思う。
日本の人形文化を発信、伝承を期待しています。
伝統・文化継承のために頑張ってください。
■展示について
もっと種類を見てみたい。
ひなめぐりスタンプの景品は、もう少し考えた方がよいと思います。
全国の雛人形の色々を紹介してもらいたい。
西沢笛歌さんについてのいろいろなこと。
ひな祭りの期間だけでなく、常時広めてほしい。人形店は買わない人には入りづらい。
もっと資料的人形展示してほしい。
楽しく興味深く拝見いたしました。ご案内も親切でした。ありがとうございます。
会館の建設と同じく、下(遺跡)の展示や保護もお願いしたい。
昔のお人形も素晴らしく、見れてありがとうございました。
■広報について
若い世代には、ネット配信のニュースでも告知するのも良いかと。
市民のコンセンサスを取るべく、キャンペーンをもっとした方がよい。
大宮にある盆栽博物館と連携を取ると、海外の盆栽愛好家とその家族の来日をも促せそうなのでは？
人形文化があることを外国にも発信してほしい。
鴻巣のビックリ雛と同等のイベントの開催。
人形文化の講演、ワークショップ希望。
会館にとどまらず、町おこしとしても、スタンプラリーなど面白い試みで観光客を迎えてほしい。期待しています。
■名称について
岩槻人形会館という名前が苦慮しています。岩槻に限定しない方が広がりがあります。人形会館ですと、笛歌コレクションの奥行きがわかりません。将来の人形文化拠点への高みを考えると、「西沢笛歌人形博物館」にすべきだと思います。他の設備は併設という考えでよいと思います。
岩槻の人形といった狭い範疇を考えてほしくない。人形はどの家でも、世界の国どこにもある。“岩槻は人形のまち”と知ってから(岩槻に来て30数年)、ぜひ「世界人形博」をと主張してきた。前区長にも主張してきた。
(仮称)岩槻人形会館という名称、考え方が小さい。広い視野に立って、さいたま市や人形をPRするならば、岩槻は外すべき。
建物自体の名前「会館」という名称は使用しないでほしい。(世界にアピールするため)
日本の伝統文化としての人形ととらえるべきで、「岩槻の人形」と狭義では広められないと思いますが。岩槻の人形文化を発信するのではなく、日本の伝統文化である人形を「岩槻の地から発信する」のでなければ、コレクションの意味がありません。

■雛めぐりについて
ひなめぐりが好きで、去年岩槻に行っただけ、どの会、県よりサービスはイマイチだった。
街並みに飾って観た方が良いと思います。
商業ベースの岩槻人形と館山の人形館とは性格が違うことを、認識する必要がある。一般市民をどれだけ取り込めるか。
■サミットについて
このような素晴らしいサミットを開いてくださったのに、観客がとても少なかった。恥ずかしいやら、とても寂しい。遠方から来てくださって一生懸命アピールしていたのに残念。もう少し宣伝してほしい。
ひな祭りを開催している団体は70ヶ所あると聞いた。参加する団体を半分の45集まってもらえるよう、頑張ってください。(ここまで集まるようになれば、「人形会館」も一層の意義を持つ)
■サポーターズについて
続けてください。
頑張ってください。
期待しています！
頑張ってください。
さいたま市の文化振興の一つとして頑張ってください。
これからの岩槻のために伝承して行ってほしい。
■その他
人形を長く保存してください。
人形だけにこだわらず、岩槻の観光のためにお城の復元はどうでしょうか？人形だけでは弱すぎる。
盆栽のようにさいたま市を代表する文化として後世に伝えたい。
まちかどひなめぐりは、今年は日程が早くなったので、時間が取れませんでした。人形会館ができれば行ってみたい。
岩槻から人形さんを買いました。床の間で毎日眺めております。
伝統文化を大切に守って行ってほしい。
人形の修復について調査・研究してほしい。
市長が中心となり、観光と宣伝を行なう。人形史を知りたく、講演を楽しみに参りました。
日本の人形文化は大切なものと思います。次の世代にも引き継いでほしいです。ぜひサポーターにお願い致します。
一番初めは10年前、村上の人形を見たこと。鶴岡、滋賀、五箇荘にて人形さまを見た。今思い出したが、30年前、柳川お花見に行ったり、日
産業としての枠を超えて、分業によるものではない作品づくり。
つるし雛を7年くらい作って楽しんでいますが、「岩槻人形会館」に何か協力できればいいと思います。
つるし雛を見てきました。とても素晴らしく、多くの人に発信してください。
子供の成長を祈る親心がひしひしと感じられました。
県の協力も。
人形の作り方のコースや調度品などの作り方を見てみたい。お店めぐりコースなどを作ってほしい。
駅からハイキング気分で行く、又は自転車で行けるように町並みの整備をする。
作ることを初めて知りました。先生のお話は楽しくなりました。ありがとうございました。
岩槻郷土資料館の中に岩槻の人形について展示してあれば、そこを充実するというやり方もあると思う。
小学校のモノ作りとしてお願いしたいです。
岩槻だけではなく、浦和でもいいかもしれません。
初めて人形の岩槻に来ましたが、すばらしいです。今度、友を誘って、何回もまた来ます。
城下町は全国にたくさんありますが、「人形の町」は岩槻が唯一とも言えます。岩槻区の町おこしは、「人形中心」と思います。